

会員数 94,560 (前月比) - 1
手配り 26,795 (前月比) + 3
郵送 9,655 (前月比) - 48

会員世帯数 41,517 (12/31現在) [前月比 21増]
協同基金到達額 2,287,856,000円 (12/31現在)
[前月比 1,708,000減]
協同基金出資者数 23,665名 (12/31現在)



発行
健康友の会 みみはら



本部事務局組織部
『とも』編集委員会

〒590-0821
大阪府堺市堺区大仙西町6丁184-2
Tel.072-244-8061
Fax.072-244-7860

1部 30円

2025 大阪民医連 共同組織交流集会 開催



太鼓サークル「拓 (ひろく)」

記念講演 講師
舟越光彦氏

太鼓サークル「拓 (ひろく)」の迫力ある演奏で会場が一体となって幕を開けました。

続く記念講演では、舟越光彦さん (JHPHコーディネーター/千鳥橋病院・医師) が、「共同組織の日常活動に、まちを健康にするほんまもののチカラがある!」と題して、病気は個人の問題ではなく、環境・格差・人とのつながりが大きく影響することを強調。医療・介護・福祉・住まい・生活支援が連携する地域包括ケアの重要性を示し、住民主体の活動こそが地域を持続可能にする力に



健康友の会みみはら 支部紹介コーナー

午後からは体験型分科会が開かれ、「お口の健康」「介護体験」「体操体験」の各分野の実践者が活動報告を行いました。参加者はグループに分か

分科会・展示・交流でひろがる実践の輪

なると話されました。スローガン「つながりひろげ、つながりはぐくみ、地域をつくる」の通り、参加者は自分たちが

地域づくりの担い手であることを改めて確認する時間となりました。

みみはらの積極参加と会場での活動

みみはらグループからは190人が参加し、全大会・分科会などで積極的に交流しました。

会場では機関紙『とも』創刊500号記念として発行した「かんたんレシピ本」と、鳳クリニックスのオリジナル注染てぬぐいを販売し、参加者から大



レシピ本、注染てぬぐい販売



みみはらグループから190人が参加

つながりひろげ、
つながりはぐくみ、
地域をつくる

2025年12月21日、堺市産業振興センターにて「大阪民医連 共同組織交流集会」が開催され、大阪民医連の5つの医療福祉生協、6つの健康友の会と法人・院所職員合わせて532人が参加しました。

地域を元気にする「つながり」の力

聴診器

1月になった。日差しが明るくなり春が来た!と嬉しくなる。私は鳥たちの声を聞きながら、木漏れ日の合間から青空を見上げる瞬間が好きで、つい歩いてしまつてしまう。これも平和だからできることで、今年度中に住宅地の中に長射程ミサイル配置が予定されている熊本市の人たちはどんな想いで空をみているのだろうか。▼高市政権ができてから新たな戦前を思わせる、きな臭さを感じるひとは少なくないのではないかと。国民の生活より軍備拡張に前のめりになっている与党や大企業、批判できない大手メディア。高市首相は安倍政権下の総務相時代に政権に批判的なTV局に対し電波停止する、といった発言で物議を醸した。この頃からメディアの忖度に拍車がかかった▼庶民に何ができるのか? ジャーナリストに聞いた話「TV局や新聞にむけて編集局長様との書き出しで番組や誌面への意見を送ってほしい。編集局長に3人から同じような意見が来ると、これは?と向き合う態度は変わる。良い報道があれば、よかった!と激励すると作り手の大きな励みになる」市民にも報道を変える力はある、と▼私もメールおぼさんと化している。みなさんも是非、発信してほしい。FAXでも電話でもいい。アリが象を倒すを目指して。

(緒方浩美)